

平成24年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ダルトン

コード番号 7432 URL <http://www.dalton.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢澤 英人

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 東郷 武

TEL 03-3549-6805

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第3四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第3四半期	12,957	10.0	97	△64.9	11	△93.4	21	△47.4
23年9月期第3四半期	11,778	1.4	277	3.3	177	17.0	40	△56.4

(注) 包括利益 24年9月期第3四半期 21百万円 (—%) 23年9月期第3四半期 45百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第3四半期	1.51	—
23年9月期第3四半期	3.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
24年9月期第3四半期	13,508	—	3,479	—	25.4	244.66
23年9月期	12,584	—	3,457	—	27.0	242.99

(参考) 自己資本 24年9月期第3四半期 3,424百万円 23年9月期 3,401百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年9月期	—	0.00	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,823	11.1	381	△11.8	251	△17.7	200	△53.2	14.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)変更の詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年9月期3Q	14,197,438 株	23年9月期	14,197,438 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年9月期3Q	198,625 株	23年9月期	198,625 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期3Q	13,998,813 株	23年9月期3Q	11,599,328 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、復興需要などを背景に一時的に回復基調となったものの、長引く欧州諸国の財政問題による世界経済の減速や円高の長期化による輸出企業業績の先行き不安など、依然として先行き不透明な厳しい状況が継続しております。

当社グループを取り巻く環境におきましても、依然として続く公共投資の低調な推移から、激しい受注競争が継続いたしました。

このような厳しい事業環境の中、当社グループは、事業セグメントを超えたグループ間の協力体制を強化したうえで、顧客密着型の営業活動と採算性を重視した受注確保に重点を置き、売上原価や販売費及び一般管理費の抑制に努めましたが、受注競争の激化等が影響したことで利益率の低下を招きました。

これらの活動の結果、当社グループの売上高は12,957百万円（対前年同期比10.0%増）、営業利益は97百万円（対前年同期比64.9%減）、経常利益は11百万円（対前年同期比93.4%減）、四半期純利益は21百万円（対前年同期比47.4%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 科学研究施設

当社グループの主要事業であります科学研究施設におきましては、主要顧客であります官公庁からの受注が依然として低迷している中で、得意としている半導体製造環境関連装置であるリフトオフ装置の継続受注に支えられ、売上高は8,923百万円（対前年同期比16.2%増）、営業利益は109百万円（対前年同期比0.6%減）となりました。

なお、科学研究施設の売上高は、第2四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間に集中しており、第1四半期連結会計期間及び第3四半期連結会計期間は相対的に少なくなる傾向があり、業績に季節的変動があります。

② 粉体機械等

粉体機械等におきましては、依然として厳しい状況の中で積極的な営業展開を進め、売上原価低減につきましても積極的に取り組んでまいりました。しかしながら民間企業からの受注競争が引き続き激化していることから、売上高は4,034百万円（対前年同期比1.6%減）、営業利益は362百万円（対前年同期比24.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における資産につきましては、前連結会計年度末から923百万円増加して13,508百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末から401百万円増加して8,067百万円、固定資産は、前連結会計年度末から517百万円増加して5,433百万円、繰延資産は、前連結会計年度末から4百万円増加して8百万円となりました。

流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金が1,136百万円増加したものの受取手形及び売掛金が469百万円減少したことによるものであります。

固定資産の増加の主な要因は、無形固定資産が387百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末から902百万円増加して10,029百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末から624百万円増加して7,067百万円、固定負債は、前連結会計年度末から277百万円増加して2,961百万円となりました。

流動負債の増加の主な要因は、支払手形及び買掛金が233百万円、短期借入金が158百万円増加したことによるものであります。

固定負債の増加の主な要因は、社債が255百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月11日の「平成24年9月期 第2四半期決算短信」で公表しました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第3四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であります。

(2) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

（法人税率の変更等による影響）

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」

（平成23年法律第117号）が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.7%から、平成24年10月1日に開始する連結会計年度から平成26年10月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については38.0%に、平成27年10月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については35.6%となります。この税率変更により、繰延税金負債の金額は51,713千円減少し、法人税等調整額は51,713千円増加しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,368,778	3,505,184
受取手形及び売掛金	3,308,886	2,839,709
商品及び製品	864,974	815,685
仕掛品	275,094	229,651
原材料及び貯蔵品	344,749	377,182
その他	511,507	308,766
貸倒引当金	△8,826	△9,028
流動資産合計	7,665,164	8,067,151
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	700,868	716,669
機械装置及び運搬具（純額）	157,302	136,647
土地	3,160,287	3,160,287
その他（純額）	76,325	178,948
有形固定資産合計	4,094,783	4,192,552
無形固定資産		
のれん	5,278	335,424
その他	62,676	119,888
無形固定資産合計	67,955	455,313
投資その他の資産		
投資有価証券	45,961	54,133
その他	722,795	752,779
貸倒引当金	△15,017	△21,051
投資その他の資産合計	753,739	785,861
固定資産合計	4,916,479	5,433,727
繰延資産	3,351	8,081
資産合計	12,584,995	13,508,959

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,692,646	3,926,253
短期借入金	1,771,603	1,930,447
1年内償還予定の社債	201,300	203,400
未払法人税等	113,221	67,834
賞与引当金	196,761	161,121
製品保証引当金	23,850	35,090
資産除去債務	5,880	—
その他	437,905	743,451
流動負債合計	6,443,168	7,067,598
固定負債		
社債	94,800	350,600
長期借入金	902,434	876,904
退職給付引当金	1,010,700	937,252
役員退職慰労引当金	98,983	101,363
資産除去債務	44,273	73,282
その他	533,078	622,506
固定負債合計	2,684,269	2,961,909
負債合計	9,127,438	10,029,507
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,387,182	1,387,182
資本剰余金	1,116,886	1,116,886
利益剰余金	962,608	983,715
自己株式	△59,894	△59,894
株主資本合計	3,406,783	3,427,890
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,243	△321
繰延ヘッジ損益	—	△712
為替換算調整勘定	△1,956	△1,877
その他の包括利益累計額合計	△5,200	△2,911
少数株主持分	55,974	54,472
純資産合計	3,457,557	3,479,452
負債純資産合計	12,584,995	13,508,959

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	11,778,545	12,957,592
売上原価	8,159,828	9,055,163
売上総利益	3,618,716	3,902,429
販売費及び一般管理費	3,341,050	3,804,886
営業利益	277,666	97,542
営業外収益		
受取利息	1,117	616
持分法による投資利益	489	—
保険事務手数料	3,692	3,499
助成金収入	2,493	300
為替差益	640	1,652
その他	4,698	11,596
営業外収益合計	13,133	17,665
営業外費用		
支払利息	63,990	50,434
手形売却損	19,929	17,794
持分法による投資損失	—	59
支払手数料	12,738	19,740
その他	16,724	15,457
営業外費用合計	113,382	103,487
経常利益	177,417	11,720
特別利益		
固定資産売却益	155	1,485
保険解約返戻金	24,983	55,640
受取補償金	—	49,821
その他	50	522
特別利益合計	25,188	107,469
特別損失		
固定資産除却損	754	—
投資有価証券評価損	38	—
特別退職金	—	36,347
保険解約損	1,256	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	45,472	—
特別損失合計	47,523	36,347
税金等調整前四半期純利益	155,082	82,842
法人税、住民税及び事業税	109,665	87,629
法人税等調整額	△967	△24,403
法人税等合計	108,698	63,226
少数株主損益調整前四半期純利益	46,384	19,615
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	6,282	△1,491
四半期純利益	40,101	21,107

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	46,384	19,615
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△986	2,912
繰延ヘッジ損益	—	△712
為替換算調整勘定	△88	78
その他の包括利益合計	△1,075	2,278
四半期包括利益	45,308	21,894
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39,002	23,396
少数株主に係る四半期包括利益	6,306	△1,501

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	科学研究施設	粉体機械等	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,680,418	4,098,127	11,778,545	—	11,778,545
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,680,418	4,098,127	11,778,545	—	11,778,545
セグメント利益	110,091	476,842	586,933	△309,267	277,666

(注) 1. セグメント利益の調整額 △309,267千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	科学研究施設	粉体機械等	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,923,166	4,034,426	12,957,592	—	12,957,592
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,923,166	4,034,426	12,957,592	—	12,957,592
セグメント利益	109,427	362,214	471,641	△374,099	97,542

(注) 1. セグメント利益の調整額 △374,099千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。